

年末手当

3.5カ月を支給せよ

要求獲得に向け職場からの闘いを！

年末手当は生活給

JR東海会社に対して申し入れた要求の根拠は、「春闘でベアゼロであり、期末手当は生活給としての比重が大きい。社会保障費の負担増や石油製品をはじめ、小麦や大豆製品など生活に密着する物資の値上げ。また、今後、値上げされる電力料金や消費税の増税による」支出が増えるためです。

第2四半期の決算においても、「新幹線・在来線の輸送量が好調であり増収増益となった。背景

国労東海本部は10月22日、JR東海会社、JR貨物東海支社、ジェアル東海バスに対し、年末手当の申し入れを行いました。要求獲得に向け、交渉と同時に全機関・組合員が一丸となった取り組みをしよう。

要求月数は、JR東海会社とJR貨物会社が3・5カ月、ジェアル東海バスについては3カ月で、国労の生活実態アンケート調査や各社の経営状況、労働者の取り巻く社会経済情勢などを背景にし、全国統一要求として決定しました。

景には、臨時列車や自然災害に対する社員の奮闘があった」「日夜、安全安定輸送に奮闘している社員の期待に応えよ」と主張しています。交渉は、10月31日に「趣旨説



国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都区区新橋5-15-5
発行責任者 渡邊良成
編集責任者 高木宏
交通ビル4階

米兵の女性暴行に抗議、米軍基地の即時撤退、日米安保条約の破棄を求める(声明)

10月16日、沖縄米海兵隊員2名による、日本人女性に対する暴行事件が発生した。女性を集団で暴行する卑劣な犯罪行為は断じて許せないものである。

沖縄では、米海兵隊員による女性への暴行事件は後を絶たないばかりか、この間、多くの米国軍人や軍属が日本で様々な犯罪を起こしてきている。

独立した国の中を他国の軍人が我がもの顔で歩き、さらには暴行、窃盗、殺人など多くの犯罪を行い、なかには公務中を理由に日本の法律で裁けず、そのまま逃げ帰ることもおきている。

今回の暴行を行った米海兵隊員は、テキサス所属で暴行事件を起こしたその日には、帰国する予定であり、そのまま逃げてしまおうとする卑劣極まりないものである。

今回の事件で、野田首相や森本防衛大臣は「あつてはならないことだ」と言っているものの、この間、事件が起きるたびに歴代の首相から同様の発言が繰り返行われているが、米兵による犯罪が後を絶たずに今日まで起きている。

日本の米軍基地の70%以上が存在する沖縄県では、米海兵隊員などによる女性への暴行事件をはじめとして多くの犯罪が繰り返され、県民が安心して暮らせる状況にはなっていない。

また、墜落を繰り返す欠陥機のアスプレイの配備に対しては、沖縄県民の多くが反対する中で強行してきている。

繰り返される犯罪やアスプレイの強行配備も、日米地位協定や安保条約による米軍基地が存在することから発生している。

私たち国鉄労働組合東海本部は、女性への暴行事件に強く抗議をするとともに、日米安保条約（日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約）の破棄と米軍基地の即時撤去・撤退を求めるものである。

2012年10月19日

国鉄労働組合東海本部

労苦に報いよ

明」を行い、11月6日に団体交渉で議論します。

ジェアル東海バスに対しては、「安全と安定輸送を支える運転士の存在がますます重要となっている。昼夜を問わず奮闘している社員の労苦に報いよ」とし、年末手当要求と合わせて契約社員に対しても100%の支給を求めています。

労働条件の改善を

JR貨物東海支社に対しては、

年末手当3・5カ月分の支払い要求を含め7項目を申し入れました。他の項目は、「55歳以上の労働条件改善」「契約社員・臨時社員も社員と同様に」「社員が年休の完全消化ができる要員の確保」を求め、東海支社から本社に積極的に働き掛けを行うことを求めています。

なお、国労本部は10月24日に趣旨説明を行いました。貨物会社は「11月12日の週に回答したい」との見解を示しています。

「がん」の保障

＜生きるためのがん保険Days(デイズ)＞

保険期間：終身（抗がん剤治療特約は10年更新）		契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン		入院給付金日額10,000円の場合	
初めて診断確定されたとき		がんの場合			
診断給付金		上皮内新生物の場合			
入院したとき		入院給付金 1日につき			
通院したとき		通院給付金 1日につき			
手術したとき		手術治療給付金 1回につき			
放射線治療を受けたとき		放射線治療給付金 1回につき			
抗がん剤治療を受けたとき		抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月			
(上皮内新生物は対象外)		乳がん・前立腺がんのホルモンのとき 1カ月			
抗がん剤治療給付金					
プレミアムサポート		訪問面談サービスと専門医紹介			
		(このサービスは、株式会社 法研が提供			

●詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

●詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

「生きる」を創る。Aflac

生きるためのがん保険Days(デイズ) スタンダードプラン				
◆月払保険料(団体取扱)		(2011年4月1日現在)		
入院給付金日額10,000円		定額タイプ保険料		
払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)		払込期間		
		35歳	45歳	55歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	8,864円	9,048円
<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。				
<募集代理店> AF007-2011-0186 4月25日				
アベニール株式会社				
TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822				
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5交通ビル3F				
<引当金受取会社> アフラック 東京第三法人営業部				
〒163-0456				
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル				
当保険に関するお問い合わせ・各種お手続き				
コールセンター 0120-5555-95				

組織拡大を全力で！

「組織拡大統一行動」エリア対策会議

東海本部は10月24日、「組織拡大統一行動」エリア対策会議を都内で開催しました。会議は、各地方本部三役と組織担当役員に参加により、本部の提起を受けて議論し、組織拡大の統一行動に向けて意思統一をしました。

本部より提起

国労本部・田中副委員長は、「歴史ある国労運動に自信と確信を持って取り組み、全国統一闘争として職場を基礎とした運動をする。他労組と国労の違いや国労の優位性を自覚して行動を起こし、来年からとか再来年



真剣な議論が交わされる

ではなく、今これから取り組む必要がある」と述べました。

そして、「各機関での意思統一の必要性や拡大期間を決めた行動の展開、千名の目標数について提起」し討論に入りました。

不満を聞こう

前半5名が発言し、「他労組は、労働者意識や労働組合としての認識に欠けているが、会社に対し個人としての怒りや不満を持っている」、「所属している労働組合に対しての不満があるが、我々の行動が甘い」、「若い人たちと職場でじっくり話す機会はほとんどないが、国労の新聞やチラシと行動を見て、彼らなりに国労を認識している」と現状や教宣活動の重要性についての報告がありました。

また、「国労に加入したら、

職場で総力戦になる可能性もあり、守る力と支える決意を組織的につくらねば加入を勧められない」と組織拡大の難しさについての発言がありました。

地方本部から組織拡大に向け、「何が出来るか、我々の構えをいかにつくるのかを次回の執行委員会検討し追求する」と具体的な行動目標について報告がありました。

すぐに行動しよう

本部・田中副委員長は、「新入社員や若い社員を労働者としてどう見るのか、という根本的な問題ですが、我々がよりしっかりした考えと態度で社員に接することが大切です。加入には厳しい環境であることは事実ですが、これを『困難と見るのか、やればできる』と見るかの問題であり、この間の国労運動が示しているように『やればできる』、自信と確信を持って直ぐに行動しよう」と改めて提起しました。

強化と拡大を一体で

後半は3名が発言し、「国鉄



田中副委員長が提起

分割・民営化当時は、今より厳しい状況であったが立ち向かい運動をしてきた。今までの運動に自信と確信を持ち、加入対象者をしつかりみて進めよう」、「組織の強化と拡大は一体であり、切り離せない」と分会活動を強化して進めようと発言がありました。

続いて「趣味やレクが出来なければ拡大の糸口はないとは思いませんが、拡大の基本は職場・仕事です。職場で国労が動けば

皆が見ていて反応がある」と行動の重要性についての発言がありました。

また本部への質問として、①拡大運動を提起する以上、節目・節目の点検をどう行うのか。②本部の拡大目標は千名だが、エリアや地本、支部、分会の目標人数はどうするのか。の2点が出されました。

発言を受けて

本部・田中副委員長は「集中した運動が必要です。経費は準備します」と答え、獲得目標数については、「各職場で議論し、決定し、行動を起こそう」と統一行動への集中を強調しました。

運輸協と車両協が委員会開催

10月18日に東海本部運輸協議会委員会、10月20日には東海本部車両協議会委員会が開催され、両委員会は、11年度の活動総括と12年度の活動方針を確立し新役員を選出しました。

【車両協議会新三役】

議長 藤井 智（新幹線）
副議長 金澤 康雅（静岡）
副議長 板倉 豊彦（名古屋）
事務長 西里 重則（新幹線）

【運輸協議会新三役】

議長 芝田 純一（新幹線）
副議長 土屋 敏行（名古屋）
事務長 神田 茂樹（静岡）

入院、地震、火災、交通事故…
一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。
何事も備えあれば憂いなし。
あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、
しっかり組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

お問い合わせ先：東海本部国労共済委員会